



30代 男性 Eさんのコロナ体験談(R4.8)

(家族が陽性、自己検査後、陽性者登録センターに登録して自宅療養したケース)
※同居家族に重症化リスクあり、保健所が健康観察を実施

① 感染判明から療養の経過は？

最初に妊娠中の妻が発熱し、医療機関を受診して検査したところ陽性となりました。
翌日、1歳の娘も陽性になり、その翌日、自分自身も発熱し、自己検査で陽性となったため、陽性者登録センターに登録しました。妻は妊娠中であったため、保健所から毎日健康観察の電話がありました。

② 感染が判明したときの心境は？

妻と子供が陽性となったため、自分が感染するのも時間の問題だと思っていましたので、陽性判定となった時は「やっぱりか」という感じでした。

③ どのような症状が表れましたか？

発熱(37度~38度台)が2日、倦怠感が2日程度でしたが、咳は2か月続きました。
また、後遺症かどうか不明ですが、娘は感染して2週間くらいたってから抜け毛がひどく、現在も元に戻っていません。

④ 感染を経験したときの不安は？

自分自身の感染はそこまで不安はありませんでしたが、妻が妊娠中でしたので妻とお腹の子供への影響が心配でした。ただ、妻には保健所の保健師さんから毎日丁寧に健康観察の連絡をしていただき、自宅療養期間中は安心して過ごすことができました。

⑤ 療養期間をどのように過ごしましたか？(有効な分離方法、防止対策 等)

家族3人でアパートに住んでいるため、部屋数も少なく、トイレやお風呂など導線を分けることが困難で、娘も1歳と小さいため、分離することは非常に難しかったです。妻の陽性後、部屋を別にして生活しましたが、娘が陽性となってからは分離せずに生活しました。

⑥ 療養期間を終えた今の体調や気持ちは？

普段通りの体調に戻りましたが、オミクロン株の感染力は強く、いつどこで感染するかわからないと感じました。また、症状が比較的抑えられたのは、ワクチン接種のおかげだと思います。やはり接種可能な方はワクチン接種を行った方がよいと感じました。

⑦ どのようなサポートが欲しかったですか？

自分自身は親から食料を届けてもらい大変助かりましたが、家族などがいない場合は、職場など周りの方のサポートが必要だと感じました。

⑧ 自分の経験からお伝えしたいことは？

妻は妊娠中であったため、普段の行動には特に気を付けており、どこで感染したかは全く分かりませんでした。私は重症化リスクが低く、症状も比較的軽症であったため、無事に回復しましたが、高齢者など重症化リスクが高い方を守るためには、若い人が市販薬など事前にできる限りの準備し、保健所や医療ひっ迫を防ぐことが必要だと改めて感じました。